

令和6年北栄町成人式～二十歳の集い～

はじめに、この度の令和6年能登半島地震で、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆様のお見舞いを申し上げます。一日も早い、復旧を願っています。

皆さん、新年あけましておめでとうございます。町長の手嶋です。

本日ここに、令和6年北栄町成人式～二十歳の集い～を挙げるにあたり、成人の皆さんに対し、町を代表し、心からお祝い申し上げます。また、今日まで深い愛情を注いでこられたご家族の皆さま、そして恩師の皆さんに対し、敬意を表するとともに、心からお慶び申し上げます。また、来賓としてご出席いただいた、野田議長さんをはじめ、町議会議員の皆さんに対し、厚くお礼申し上げたいと思います。

民法の改正で、18歳以上が成年の対象となりましたが、北栄町では、二十歳の皆さんを広く町民が祝い励ますとともに、皆さんがこれまで育ててくれた人々や社会に感謝し、社会的責任を自覚して、大人としての行動をとっていくためのきっかけの場として、昨年からの名称で実施しています。

さて、皆さんはここ数年、長引くコロナ禍で、そして物価高騰などで不安で不便な生活を強いられてこられたと思いますが、昨年5月の新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への位置付けや次々に行われた経済対策や物価高騰対策などで少しずつではありますが、前に進むことが可能になってきていると感じられているところではないでしょうか。

しかしながら日本は今、世界に例を見ないほどの少子高齢化が進み、人口減少が加速しています。北栄町も同様で、毎年、人口の1%が減少しています。この20年間で、2千人以上減少しているような状況です。このまま人口が減少していけば、地元産業が衰退し、活気がなくなってきます。これまでできていたこともできなくなってしまいます。そうならないよう、町では、産業の振興や子育て支援、移住定住の推進などに積極的に取り組んでいるところです。道の駅「ほうじょう」は、令和7年4月のリニューアルオープン、令和8年度には山陰道北条道路の完成で鳥取米子間が一気通貫で流れます。令和9年度には、青山剛昌ふるさと館の新築移転などにより、多くの方がこの北栄町を訪れ、賑やかになってきます。

これから北栄町が持続可能なまちとして発展していくためには、皆さんのような若い力、柔軟な発想が必要だと思っています。いっしょに、北栄町を盛り上げていきましょう。成人の皆さん、今日の感慨を胸に、責任と自覚をもって、夢に向かってまい進される

ことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和6年1月3日
北栄町長 手嶋俊樹